

2018年度 学校関係者評価
報告書

学校法人 滋慶学園
東京ベルエポック美容専門学校

学校法人 滋慶学園 東京ベルエポック美容専門学校

第1回学校関係者評価委員会議報告書

作成者（書記）：徳永 麻衣子

1. 開催日時 2019年6月25日（火） 14:00～15:30

2. 開催場所 東京ベルエポック美容専門学校 第2校舎

3. 学校関係者評価委員

<欠席> 森 章（拓殖大学紅陵高等学校 学校長）【高等学校関係者】

<出席> 白石 久喜【保護者代表】

<欠席> 山元 健次郎（株式会社 髪師 代表取締役）【業界代表】

<欠席> 吉岡 百合子（日本トータルコレクション会長 株式会社寿吉 代表取締役）【業界代表】

<出席> 空田 真之（江戸川区葛西・西葛西メトロセンター会 役員）【近隣関係者代表】

<出席> 奥 紗枝【卒業生代表】

学校側参加者

古島 昭博（滋慶学園 常務理事）

浮舟 洋子（東京ベルエポック美容専門学校 学校長）

片山 裕介（東京ベルエポック美容専門学校 副学校長）

岩村 勇（東京ベルエポック美容専門学校 運営本部長）

山口 敦（東京ベルエポック美容専門学校 事務局長）

鈴木 絵理（東京ベルエポック美容専門学校 教務部長）

内田 麻奈美（東京ベルエポック美容専門学校 広報センター長）

武田 郁乃（東京ベルエポック美容専門学校 美容師科・美容師実践科学部長）

日野 忠大（東京ベルエポック美容専門学校 美容師実践科リーダー）

中嶋 義彦（東京ベルエポック美容専門学校 学生支援センター長）

徳永 麻衣子（東京ベルエポック美容専門学校 学生支援センターリーダー）

組野 智仁（東京ベルエポック美容専門学校 広報センター）

4. 会議の概要

1. 委員紹介（委嘱状交付）
2. 学校関係者委員会の目的
3. 2018年度自己点検・自己評価結果報告
4. 滋慶学園について
5. 東京ベルエポック美容専門学校について
6. 校舎内授業見学
7. 質疑応答及び審議

(自己点検評価・重点目標説明への意見)

意見1

トータルビューティ科の学生サロンを見学させていただいた中での質問。
ネイルなど、今後個人で開業する卒業生もいると考えている。
予約やお金管理も全て学生ができるようになると強みになる。

意見2

トータルビューティ科の学生サロンについては、予約の部分は学校のホームページから受け付けており、一部お金の管理は学生が行っている状況。
学生サロンは以前にテレビで紹介された事もあり、人気がある。近隣のお客様だけでなく、遠方のお客様にもいらしていただいている。エステサロンは予約も取りづらい状況が続いている。学生は接客を通して多くの事を学んでいる。

意見3

7割の方が一都三県以外からの入学である。
安心した環境としっかり学べる授業環境に魅力を感じて入学していただいている状況。
高校生の進路選択のスケジュールとしては、高校1年生・2年生からのオープンキャンパスの参加が増えている。
部活動で忙しく、高校3年生の夏からオープンキャンパスに参加している学生もいる。

意見4

様々な環境で育った学生が本校で学んでいる。
一辺倒の方法では学生には届かない。学生に届く教育を行っている。

意見5

高校までの教育が変わってきている。高校でもアクティブラーニングの手法が取り入れられる。
今までの教育方法を変えていく必要がある。
ティーチングよりコーチングと言われている状況である。学生の技術力をあげるためには、引き出す力であるコーチングが必要。
高校でもスマートフォンの持込を解禁していく動きが出ている。
また、専門学校の運営を考えた場合、4月の入学者で、学校の収入が確定する。教育水準を守る為にも定員の充足は必要である。
現在本校は入学定員が充足できている状況。
美容師科は「職業実践専門課程」に認定している。
トータルビューティ科・ヘアメイク科は申請準備をしている段階。

意見6

本校でも、自身の技術を動画で撮影する等、授業でスマートフォンを活用している。滋慶学園の国家試験対策センターで実施している、国家試験対策WEBも学生は利用している。ゲーム感覚で国

家試験のトレーニングができる。

昨年の国家試験の状況に関しては、3名不合格だった。留学生が落ちてしまっている状況。技術は大丈夫だが、日本語の部分で筆記で落ちてしまう場合がある。個別対応を実施する。

意見7

企業が変わっているというより、学生が変わっている。

自分が学生時代は、美容師・ヘアメイクの仕事は会社で雇用されて働く認識ではなかった。街の美容室か大手の美容室への就職かで今後の美容人生がわかる。10年後の離職率が高い。

ヘアメイクの仕事の走りの方は50代に差し掛かっている。そうした人々も仕事をとり続けている状況。ルールはない。正解はない。自分で仕事を創っていく視点が必要。

自分で考え行動できることは非常に重要である。

意見8

5年後、10年後、その先のキャリアプランは大切である。

意見9

美容とファッションが好き。芸能人と関わりたいという学生が多い。

自分も変わるかもしれないという期待で美容の道に入る学生が多い。

学生は、美容の技術を学ぶことでいっぱいになり、なかなかキャリアプランを考えることができていない。

意見10

メトロセンターでは、大学と提携しており、デザイン専攻の学生さんと関わる機会もある。

ある大学では、自分の学生生活を動画でまとめ、同級生に評価してもらう授業がある。

意見11

18歳で職業選択をするということは難しいのではないか。

専修学校は2年間で技術を詰め込む必要がある。

恵まれている環境で学ぶことができているので、保護者としては、その環境を活かしきってほしいと思う。また、意識の格差を大きいと感じる。競争意識は大切。

社会に出て、プロになってからまた学び直しをする機会があってもいいのではないかと感じる。

意見12

学生の際はキャリアプランが明確ではなかった。丁度、自分自身も次の目標を探している状況。

現在、ヘアメイクの仕事や人事や教育の仕事も任せてもらっている。フォトコンテストが今でも苦手で、学生時代に力を入れておけば良かったと思っている。

5. 次回開催予定日

2019年10月15日（火）